

博士前期課程 日本語学専攻

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

言語科学研究科は、建学の理念「言葉は世界をつなぐ平和の礎」に基づき、言語科学の観点から行われる言語研究、言語教育研究、コミュニケーション研究によって、人間理解、国際・異文化交流を促進し、社会と世界の平和と発展に寄与することを教育理念としています。この理念に立ち、人間の知的活動および社会的活動の基礎である言語(主に日本語と英語)と言語教育・言語コミュニケーションに関わる諸科学を理論と実態、理論と実践を結びつけ多角的に考究することを通して、高度な専門知識と卓越した研究能力、広い視野と多様性への理解に基づく総合的思考力と判断力、高い倫理性と強い責任感、地球社会の調和・共存に貢献する実践力とコミュニケーション能力を有する人材を育成します。

1. 入学前に修得が期待される能力

本研究科・博士前期課程・日本語学専攻での学修を希望する物に対して、入学選抜においては、以下のよ
うな能力の有無について評価します。

1. 専門知識と研究力を修得するために必要な一般的教養と学力
2. 総合的な思考力と批判的判断力
3. 多様性に対する認識、および、意思疎通や協働に必要なコミュニケーション能力

2. 入学後の学びに対する姿勢

入学後の学修については、以下のような姿勢を求めます。

1. 高度な専門的な知識と技能を修得するための主体的に取り組む姿勢
2. 理論と実態、理論と実践の関係性について深いレベルで理解しようとする姿勢
3. 広い視野に立って専門的観点から言語・人間・社会の関係性を捉えようとする姿勢
4. 社会的・文化的多様性に対する理解を深め、将来社会に貢献しようとする姿勢

3. 入学者選抜の方法

多様な学生を受け入れるために、一般入試、キャリア入試(日本語教員・社会人一般)、外国人留学生特別入
試を設けています。以下の方法で、受験者の能力や姿勢を評価します。

- 一般入試および外国人留学生特別入試:書類審査、筆記試験、口述試験
- キャリア入試(日本語教員・社会人一般):書類審査、口述試験

博士前期課程 英語学専攻(MA TESOL Program)

Admission Policy

The Master's Program in Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL) seeks pre-service and in-service teachers of English who

1. Possess sufficient academic abilities and a proactive mindset to participate actively at the graduate school level.
2. Exhibit a keen interest in collaborating with others from diverse backgrounds in pursuit of common goals.
3. Demonstrate an ability to apply TESOL principles to examine and inform classroom practice.
4. Show a commitment to reflective practice, including examining and challenging their own beliefs and assumptions about teaching and learning.
5. Demonstrate an interest in English education in Japan or a future aspiration to become an English teacher in Japan.
6. Aspire to take up a leadership role to impact English language education in their teaching communities.

博士後期課程 言語科学専攻

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

博士後期課程・言語科学専攻では、言語と言語教育に関する諸分野において高度な専門知識と先導的・指導的な役割を担う研究者とを必要とする職業を担う人材を育成します。

1. 入学前に修得が期待される能力

博士後期課程言語科学専攻での学修を希望する者に対して、入学選抜においては、以下のような能力の有無について評価します。

1. 志望分野に関する専門的知識
2. 研究を通じて学術の高度化に寄与する総合的思考力と批判的判断力
3. 多様性に対する認識と協働に必要なコミュニケーション能力

2. 入学後の学びに対する姿勢

入学後の学修については、以下のような姿勢を求めます。

1. 高度な専門知識と卓越した研究力を修得するための主体的に取り組む姿勢
2. 理論と実態、理論と実践の関係性について深いレベルで理解しようとする姿勢
3. 広い視野に立って専門的観点から諸問題に対して解決策を見出そうとする姿勢
4. 社会的・文化的多様性の理解に基づき地球社会の共生に寄与しようとする姿勢

3. 入学者選抜の方法

受験者の能力と姿勢を総合的に評価するために、書類審査、外国語筆記試験、および、口述試験を行います。